

# 地球温暖化から見えてくる佐賀の気候変動と備え

～ 安全会議を開催し 防災意識の向上を図る ～

10月5日、当署会議室において安全会議を開催し、佐賀地方気象台の平山防災管理官を講師に招き、「地球温暖化による気候変動および近年の気象の特徴」をテーマに講話をいただきました。

はじめに、小野次長の進行により講師の紹介があり、平山防災管理官からの自己紹介の後講和に入り、①温室効果ガスと地球温暖化のしくみ、②身近な気候変動の話“温暖化の佐賀への影響”、③佐賀における気候変動の予測、④近年の大雨と台風の特徴について詳しくご解説していただきました。

地球温暖化は、大気、海洋、雪氷圏及び生物圏において広範囲かつ急速な変化が現れていることや、100年あたりの年平均気温は世界(0.73℃)、日本(1.28)ともに上昇しており、佐賀市においても1.59℃の割合で上昇している。

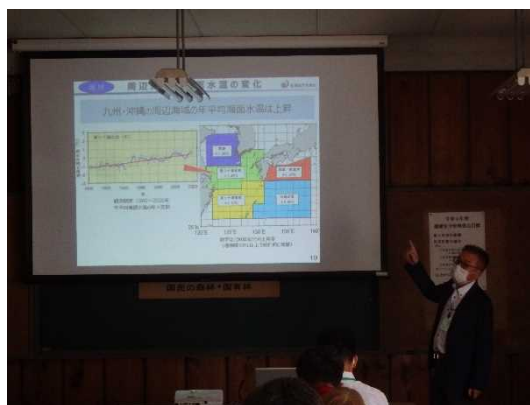
また、佐賀の1時間降水量50mm以上の1地点あたりの年間発生回数は約1.9倍に増加し、気温の上昇により佐賀の猛暑日、熱帯夜の増加やさくらの開花は早くなり、かえでの紅葉は遅れる傾向が見られる等の特徴についても説明がありました。

さらには、線状降水帯は大雨をもたし、災害の危険性が高くなっているため、気象庁では令和4年6月より半日程度前から予測情報を提供しており、今後も予測精度向上等に向けて取り組んで行くとの説明がありました。

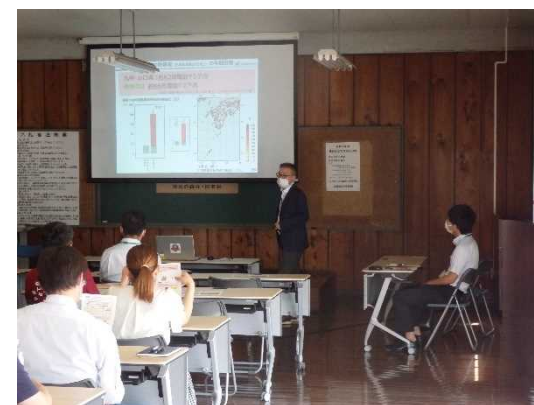
おわりに、小野次長から「近年の気候変動による世界、日本、佐賀の現状についてと説明いただき感謝の意を伝えるとともに、今後も防災意識の向上に役立てて参ります。」と挨拶を行い、本日の安全会議を終了しました。



安全会議の様子(佐賀森林管理署会議室)



講師 佐賀地方気象台 平山 防災管理官



講師 平山 防災管理官